

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス 花りん		
○保護者評価実施期間	令和6年 10月 1日		～ 令和6年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40名	(回答者数) 27名
○従業者評価実施期間	令和6年 11月 1日		～ 令和6年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種の職員がおり、専門性のある支援の提供	色々な職種の職員がおり、専門的な視点からの考えや意見を取り入れながら支援をしています。専門職だからこそ気づく事や新しい発見があります。	保護者の困っている事に助言や提案を行ったり、新しい発見などを情報共有し、より共通理解ができるようにしていきます。
2	設備や部品を使用し安全安心な環境作り	それぞれにあった移乗方法を職員で考えたり、過ごし方の検討をしています。設備を利用したり、物品の使い方を工夫しながら安全な環境作りに努めています。	自宅だけでなく、学校や他の事業所での環境作りを参考にしながら、より安全安心な環境を作っていきます。事業所の弱みでもあげていますが、災害時に備えて行っている訓練や緊急時・防犯・感染症なども訓練の実施周知方法を検討していきます。
3	保護者との共通理解ができています	アセスメント時期以外でも、送迎時にお話を聞いたり、気になる事があれば都度確認を行っています。連絡ノートには利用時の様子をいい事はもちろん、失敗した事なども含めこまかく記載するようにしています。	どんな小さなことでもお話しして頂ける関係を築けるようにコミュニケーションを密に図るようにしていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流、地域の他の子どもと活動する機会	医療的ケアや重度の子どもが多く、感染症の発生状況を踏まえて交流する事が難しいと感じています。	感染症の発生状況を見ながら、どういった交流方法があるのか検討をしています。
2	災害時に備えての訓練や緊急時・防犯・感染症などの訓練実施の周知	定期的に必要な訓練の実施を行い、おたよりに訓練内容を記載しているが周知できていないのだとわかりました。	マニュアルを含め、訓練内容をわかりやすい発信方法を考えしていきます。
3	支援の振り返りや業務改善の振り返り	振り返りの場を設ける事ができておらず、個々のやり取りになっているのが現状です。	毎月の会議以外でも必要に応じて、全職員の意見を聞くようにしたり、システムを活用した振り返り方法を検討したりしていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス 花りん		公表日		令和7年 2月 15日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		4	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		1	3	職員間で連携をとり協力しながら取り組んでいます。	医療的ケアが多い日に他の支援や活動内容により少ないと感じる日がありますが、より連携を密にし支援を行っていきます。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		4		必要に応じて天井リフト、走行リフトを使用しています。	今後も安全にこどもたちがわかりやすい環境設定を考えていきます。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		4		毎日の清掃消毒・都度の消毒を徹底しています。共有物も使用後は消毒を行い清潔を保つようにしています。温度設定に注意したり、こまめに換気を行っています。職員にもこまめな手洗い、消毒をするようにしています。	現状維持していきます。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		4		必要に応じて個別の対応を行っています。	現状維持していきます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		1	3	何か課題が出た時は事前にスタッフへ伝えて意見を考えてもらうようにし、色々な意見を出し合えるようにしています。	引き続き、色々な意見を聞きながら改善を行っていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		4		会議の場で報告を行っています。保護者の意見を踏まえて職員で話し合いをしています。	現状維持していきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		2	2	個々であがってきた意見を毎月の会議で話し合いをしたり、何か問題点などがないか確認を行っています。	意見等を把握する機会、もしくは把握する手段の検討をしていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			4		実施していません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		4		外部研修の案内は全スタッフが確認できるようにしており、受講希望があれば受けられる環境を整えています。月1回施設内研修を実施しています。	現状維持していきます。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		4		ホームページに公表しています。	支援プログラムの内容を定期的に検討し、よりよい支援に繋げていきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		4		定期的に保護者やこどもへアセスメントを行い、課題や思いをふまえながら作成を行っています。	子どもや保護者のニーズや思いはもちろん、取り巻く環境等にも視点を向けて考えていきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		4		利用中の様子などを情報共有しながら、こどもにとって何が大事なのかを考えながら行っています。	現状維持していきます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		3	1	計画書はいつでも確認ができるようにしています。新しい発見や課題など職員間で共有を行うようにしています。	その日のこどもの様子をみながら判断し支援を行う事があります。1番はこども思いを理解し共感する事だと思っています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		4		いつもと違う様子があったり新しい発見があった時は職員間で共有をしています。その情報をふまえながらアセスメントを行っています。	現状維持していきます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		4		保護者や子どもから聞き取りで得たニーズや問題点をふまえながら、具体的な支援内容を考えるようにしています。	現状維持していきます。

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		色々な職種の目線や角度の意見を取り入れながら、色々な経験や楽しみを見つけられるような工夫をしています。	現状維持していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		季節に応じた内容の物を取り入れたり、育ちや経験に繋がるような内容を考えながら行っています。	今後も色々な経験ができるような内容を考えていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		個別活動・集団活動を組み合わせ計画を立てています。	個々の状態に応じてより個別・集団活動を楽しめるような工夫をしています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	1	都度必要な事は話し共有するようにしています。ホワイトボードを活用しながら連携が取れるようにしています。	個々の話し合いになってしまう事がありますがその内容を他のスタッフにも共有できるようにしていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	2	気づいた事などあれば、その都度話すようにしています。	送迎の関係もあり就業時間が異なるため、その日に振り返りを行う事が難しいのが現状です。全スタッフに共有が必要な内容はシステムを活用し共有するようにしています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		記録の大切さを日々意識しながら、小さな気づきなども記録するように心がけています。	現状維持していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		定期的にご家族やご本人からの聞き取りを行い、スタッフの意見もふまえて見直しを行っています。	現状維持していきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4		色々な活動内容を考えて支援を行っています。	地域交流の機会の提供。に関しては難しいと感じていますが、意見を出し合いながら、提供できるような工夫をしています。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		支援の中で選択できる機会（おやつを選ぶ・おもちゃを選ぶなど）を増やしています。選択するサインも、それぞれ子供たちの特性を見ながら判断しています。	選択できる機会を増やししながら、自分で決める力を少しでも伸ばせるように考えていきます。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		児童発達支援責任者及び関わりが深い職員が参加しています。	現状維持していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		必要なケアに対して主治医より指示書を頂いたり、嘱託医に定期訪問に来ていただいた時に相談しています。	現状維持していきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		学校送迎時にお話をさせて頂いたり、何かあれば連絡をして頂くようにしています。	引き続き情報共有ができるように、連携をとっていきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	1	必要に応じて情報を頂いたり、聞いたりしています。	ご家族から聞き取りする事が多いため、より情報が共有できるようにしていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4		担当の相談員さんへ利用時の様子などを伝えたり、生活介護を運営しているためスタッフ間で情報共有を行ったりしています。	移行後安心して利用して頂けるように、連携をとっていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		4	必要に応じて電話で確認をしています。	以前は見学に行かせて頂く事がありましたが、近年は感染症の発生状況をふまえて控えています。状況を見ながら再開を検討していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		4		近年は感染症の発生状況に伴い、交流が難しいと感じています。今後状況を見ながら交流する機会の判断をしていきます。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。		4		参加できていません。参加できるような体制を整えていきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	1	連絡ノートに利用中の様子をこまかく記入しています。それ以外にも送迎時にお話をさせていただき共通理解できるようにしています。	得た情報を全スタッフで共有しながら支援を行っています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2	ご家族が困っている事に対して専門職が提案や助言をしています。	研修はできていません。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約時に説明を行っています。	現状維持していきます。	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		定期的にあセスメントやモニタリングを行い、子どもや保護者の思いや意向を確認しています。	現状維持しています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		計画書の説明・確認を行い同意を得ています。	現状維持しています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		なんでも相談して頂けるような関係を築けるよう努力しています。相談を受けた際は事業所として何が出来るのか考え、必要に応じて他の機関と共有しています。	今後もコミュニケーションをとりながら、関係を築いていけるように努力していきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	2	イベント時に保護者同士の交流がはかれる機会を作っています。	保護者の希望を踏まえて必要性を検討していきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		苦情があった場合は原因を考えて再発防止に努めています。	迅速かつ適切に対応を行っていき、市町村や公的団体の苦情窓口の案内を周知していきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4		毎月おたよりを発行しています。活動の様子や来月の予定などがわかるようにしています。	現状維持しています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		全職員、取り扱いに注意するように徹底しています。	再度、取り扱いに留意するよう周知します。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		自宅だけでなく学校や他の事業所でのコミュニケーションツールを参考にしながら意思表出が増えるような支援を行っています。	意思表出のサインを見逃してしまっている事もあるので、意識して支援を行うようにしていきます。
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4		近年は感染症の発生等により地域住民の方の参加型イベントは減っていますが、以前は近隣の方に案内をお配りし参加して頂いていました。	感染症の発生状況を見ながら検討していきます。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		計画に沿って研修を行っています。おたよりにて研修の内容を記載しています。	現状維持しています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		計画を策定し、定期的に訓練を実施しています。	現状維持しています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4		服薬が変更になった場合はお薬手帳を持参して頂くようお伝えし、確認を行っています。	今後もお薬変更後の様子などは家族様にお伝えし、情報共有しています。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		現在医師の指示書が必要となる食物アレルギーの方はおられません。食札にアレルギーの記載があり、提供前に確認するようにしています。	必要に応じて医師に指示書を記入していただき、対応をしていきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		計画を策定し、定期的に訓練を実施しています。	現状維持しています。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	1	個々の特性や危険な動きなどは事前に確認を行い、安全に配慮しています。	安全計画を周知できていないため、周知して頂けるようにします。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		全職員が確認できるようにしています。検討が必要な項目については会議で話し合いをしています。	現状維持しています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		虐待防止委員会を設置し必要な研修内容の検討・実施をしています。	現状維持しています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		身体拘束の必要性を説明し同意を得ています。	現状維持しています。	